



旭をぐるっと一周り。

楽しい!美味しい!おもしろい!

あさひ

尾張旭市観光協会
広報誌

2015年 夏号

発行元：尾張旭市観光協会
〒488-0801
尾張旭市東大道町原田2570-3
尾張旭市商工会館2階
TEL/FAX(0561)52-6500

(VOL. 15)

新会長ごあいさつ



始めに前会長の成瀬さん、長い間、会長職ご苦労様でした、自ら率先して事業等に入り込む姿勢は見習うべきと考えております。今後は顧問としてお力添えをよろしくお願ひします。成瀬会長の後を引き継ぎまして、微力ながら観光協会会長として今後一年間尾張旭市の活性化のために努力していく所存でございます。会長職は年々多忙を極めている面もござひますが、ご要望にお答へするべく、是非とも会員の皆様のお力添えをお願ひいたしまして、簡単ではござひますが、挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。 花村 利光

輪島市白米千枚田稲刈りツアー 参加者募集

広報あさひ8/1号掲載

能登ロイヤルホテルで宿泊、翌日は尾張旭市のオーナー田んぼで稲刈り体験、そして金沢近江町市場でお買い物。とっても欲張りバスツアーです！ぜひご参加ください！

*と き 平成27年9月21日(月)～22日(火) 1泊2日

*参加費用 26,000円/1人 ・宿泊費(1泊2食) ・往路の昼食費、拝観料含む

◎ホテルはお二人利用の洋室もしくは和室になりますので、
お一人でのご参加は相部屋になります。

◎お子様の参加費は大人と同額になります。

*交通手段 貸し切りバス

*宿泊先 能登ロイヤルホテル

*募集人数 30名(超えた場合は抽選・市民の方優先)

*参加資格 どなたでも(中学生以下は保護者同伴) 稲刈り作業があり移動時間も長時間となるため、
お子様連れでのお申し込みは各自でご判断ください。

*申し込み方法 8月20日(木)午後3時までに所定の申込書を郵送、メール、FAXのいずれかで提出してください。

申込書は産業課などで配布、ホームページ(<http://owariasahishi.com/>)からもダウンロードできます。

*その他 申し込みが20名以下の場合には開催しません。

*申し込み、お問い合わせ先 尾張旭市観光協会事務局 電話/FAX 0561-52-6500

メール asahikanko@owariasahi.info



イベント報告

城山公園さくらまつり

4月1日(水)～4月10日(金)

今年のさくらまつり期間中は雨の日が多く、1日中雨が降らなかったのは3日間のみでした。4日(土)のイベント「桜ダンスフェスティバル」には多くのお客様に来ていただきました。この日「桜市場」の売上げも好調で商品が売り切れてしまった！と嬉しい声を聞くことが出来ました。5日(日)はあいにくの雨となりましたが、ステージ前に設置したテントの中にはステージ出演者のファンの方が多く来場してくださり、雨に負けじと熱の入ったパフォーマンスに多くの拍手。お天気に左右されるさくらまつりですが多くの方々に助けられて無事終了することができました。



春を謡う 徳川園牡丹祭 紅茶茶会

4月26日(日)

徳川園内「四睡庵」広場前で行われた紅茶茶会。お天気もよく、午前10時～午後3時までに来場された263名のお客様に紅茶とあさびークッキーを味わっていただきました。お客様の中には、いすではなく芝生に直接座りのんびりすごされる方もいらっしゃいました。会場内を結婚式の前撮り撮影用に婚礼衣装を着たカップルが歩いているのを見かけ思わずみなさん笑顔に！今年から保健所の指導で紙コップでの紅茶提供となりましたが、心配していた大きなクレームもなく、季節の牡丹とともに楽しんでいただけたと思います。



ホームページをごらんください。

<http://owariasahishi.com/>

当協会の事業・イベントだけでなく、

市民の皆様にお知らせしたい情報掲載中。

情報の提供等ご協力をお願い致します。

・尾張旭市観光協会Facebook ページ

・事務局ブログ『かんこのブログ』も更新中

<http://ameblo.jp/owariasahikanko/>



第4回紅茶フェスティバル in 尾張旭

《日本一の紅茶の町、日本一の紅茶の祭典》

10月25日 10:00~16:00

スカイワードあさひ

- ・紅茶シンポジウム
 - ・世界と日本の紅茶バザール
 - ・世界の珍しい紅茶体験
 - ・国産紅茶グランプリ
 - ・ステージショー
 - ・紅茶スタンプラリー、他
- 詳しいイベント情報は公式HP
をご覧ください

紅茶フェスで検索してね



新発売

あさぴー印鑑

「あさぴー」と「あなたの名前」
がコラボ。かわいだけでなく職人さんの手仕上げなので銀行印にも使えますよ。
お問合せ・申し込みは
尾張旭市観光協会事務局まで
TEL/FAX 52-6500



これからのイベント

◆ 市役所ロビー販売

8月下旬 *朝取り完熟いちじくPR販売

9月7日(月) *朝取り完熟いちじくと

いちじく加工品PR販売

◆ つけち夢まつり

8月14日(金)

道の駅「花街道付知」イベント広場前

◆ 第4回たのしい夏まつり

8月29日(土) 城山公園野球場北駐車場

◆ 市民祭

10月10日(土) 11日(日) 城山公園

◆ 尾張旭・みんなで・婚活・大作戦

(婚活イベント復活! 詳細はHP等でお知らせいたします)

10月11日(日) スカイワードあさひ

イベントを支えて下さるボランティアスタッフ
を募集しています。

詳しくは事務局までTEL 52-6500

尾張旭市内に建つ銅像

尾張旭市内には等身大の銅像として
4基の銅像があり、それぞれ偉業をなし
とげた人物。今回は「高瀬五助」について業績、活躍した
時代、経歴について述べてみたいと思います。

あさひ豆知識

建立場所 愛知県森林公園内 県有林事務所正面奥

建立者 愛知県森林公園協議会

建立時期 1955年(昭和30年)5月

業績 愛知県森林公園、開発・造成の立役者、開発計画の作成、予算の確保、公園造成工事の監督と、一貫して県森林公園の建設に貢献した人。愛知県産業部林務課長。

経歴

高瀬五助は明治19年(1886年)福岡市生まれ。大正3年(1914年)東京帝国大学農学部卒業。同年9月島根県林業部技師に就任。大正12年(1923年)愛知県技師・高等官六等に任じられ、同月愛知県産業部林務課長に就任。その後、熱田神宮境域拡張工事主任、愛知県本宮山境内森林調査委員、陸軍特別大演習事務委員、御大典奉祝名古屋博覧会審査委員、農村共同経営委員会委員などを歴任。

愛知県森林公園の歴史と高瀬五助

森林公園一帯は、江戸時代、尾張藩の「御狩場」で、明治時代には、宮内庁御領地となった森林公園を、明治39年(1906)愛知県が庄内川・矢田川の治水を目的に買い受けた土地。当時このあたりは育ちの悪い松があちこちに点在するだけの荒れた土地だった。それはこの地が矢田川氾濫層と呼ばれる砂や石ころの積み重なった栄養分の乏しい地層であったうえ、お狩場としての尾張藩の管理がなくなった後、瀬戸物を焼く燃料や、家庭の燃料として、繰り返し森林が伐採されてきたためだ。このため、江戸時代から明治に掛けて各地に洪水に悩まされてきた。大正2~5年(1913~15)頃からこの地の治水工事が始められて、植樹や砂防工事が続けられ、次第に安定した土地に変化してきた。大正の初め、森林公園一帯の砂防工事が進む中、大正12年(1923)「高瀬五助」氏が県の林務課長に就任した。そして高瀬氏の活躍もあり昭和9年県有林の比較的景色のよい区域を全国初の森林公園にすることを決定した。氏は昭和12年(1937)の亡くなるまでの14年間「愛知県の理想郷」にしようと、膨大な予算を費やすことや、県東部の県民に利用価値が少ない等の、議会の反対者を説得、上からの圧力にも屈することなく、ひたすら森林公園建設に注力した。後年、心臓病を患って県庁に出勤できなくなってからも、病院に入院することなく、森林公園内に住まいを移し、53歳でなくなる直前まで、工事の進捗状況を見回っていた。又尾張旭市の「柏井、旭ヶ丘、平子」地区は高瀬五助が県有林の一部を開拓地として払い下げ、食料事情緩和とともにその跡地に出来た町である。昭和30年(1955)5月、瀬戸市、旭町、志段味町が、森林協議会を作り、森林公園造りに生涯を捧げた「高瀬氏」の恩に報いるため、公園を見守る姿の銅像を、当初公園ゴルフ場入口東側に建立。後、公園の整備工事により、現在の公園事務所前広場に移した。これだけ立派な公園が出来たのは、・名古屋と瀬戸の大きな市街地の均衡にあったこと。・広大な土地に民有地が入り込まず、全て県有地であったこと。・愛知県の林務課長に「高瀬五助」がいたこと。といわれている。(旭あれこれひまわり第9号より抜粋)